

情報共有（1枚 非管理メモ）

11月13日午後

東京電力株式会社

NISA班←フレッシュ

取扱不可

開不可

プラント状況（本店ブリーフィング）議事メモ

日時：平成23年11月13日（日）11:00～11:08

場所：東京電力本館101会議室

先方：記者12名（カメラ3台）

当方：広報部 [REDACTED]

配布資料：なし

[REDACTED]よりプラント状況に関して説明。

質疑：

Q. 福島第一原子力発電所1～4号機のタービン建屋と原子炉建屋の水位が上昇している理由は。

A. 地下水の流入や滞留水の移送等により、これまで上下を繰り返している。特段新たな理由は無いと考えている。

以上

情報発表（事故非管轄モード）

暫定版

NISA規則 ← フィルス切換アート

プラント状況（本店会見）議事メモ取扱注意、公開不可

11/13 20:50 広報班

日時：平成 23 年 11 月 13 日（日）18:00～18:20

場所：東京電力本館 3 階大会議室

先方：記者 14 名（カメラ 3 台）

当方：原子力・立地本部 [REDACTED]

原子力運営管理部 [REDACTED]

原子力設備管理部 [REDACTED]

広報部 [REDACTED]

## 配布資料：

- 福島第一原子力発電所の状況
- 福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について（第二百三十三報）
- 福島第一原子力発電所敷地内における海水中の放射性物質の核種分析の結果について（第二百二十六報）
- 福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について（11月12日採取分）
- 福島第一原子力発電所沖合における海底土の放射性物質の核種分析の結果について（続報 39）
- 集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

[REDACTED] よりプラント状況、配付資料に関して説明。

## 質疑：

Q. 格納容器ガス管理システムについて、1号機と3号機の工事進捗状況は。

A. 1, 3号機ともに年内には稼働したいと考えており、順調に工事は進んでいる。

Q. 3号機は線量が高い状況であるが、除染はどのように実施するのか。

A. 現在検討しているところ。

Q. サブドレンポンプの復旧は現状どうなっているか。

A. 現時点ではサブドレンの水位が高いため、タービン側の高濃度の汚染水がサブドレン側へ移行しない状況を確保する必要があると考えており、タービン側からの排水を行っているところ。流入量を見ながら、決めていくことになるが現状は未定である。

Q. サブドレンポンプの復旧方法は、修理して使用するのか、もしくは新しいポンプに取り替えるのか。

A. まずは主要な建屋の周囲にあるサブドレンポンプを復旧させる予定である。単純な水中ポンプなので基本的には修理するが、できないものに関しては仮設のポンプに取り替える予定である。

Q. サブドレンは発電所に何箇所あるのか。また、主要な場所とはどこのことか。

A. 発電所構内にはサブドレンは約 100 か所ある。主要な場所とは、タービン建屋と原子炉建屋の 4 隅で、1 プラントあたり少なくとも計 8 か所ある。

以上